



平成23年度

○第15回県政ひざづめ談議の結果概要

開催日時	平成23年12月21日(水) 午後2時から午後3時25分頃まで
対話テーマ	地域ぐるみの担い手の確保・育成
対話場所	笛吹市春日居町「春日居めぐり情報ステーション」
参加者	峡東地域、富士・東部地域のアグリマスター 12名
参加者の 主な発言	<ul style="list-style-type: none">・地元の農業系の高校生に、農業を楽しみながら、後継者となってもらえるような仕組みを作ってもらいたい。・国によるエコファーマーだけでなく、県独自で篤農家を認定する制度を作ってほしい。・新規就農者にとって、住居・農地・農業機械の確保が問題となっている。・新規就農者が定着するためには、短期的な補助金よりも、長期的な視野に立った継続的な指導が大事だと思う。・都会から来る研修生は、農業に対して様々な考えや希望をもつ人がいるので、ニーズを把握してから、アグリマスターとマッチングしてほしい。  
知事の 主な発言	<ul style="list-style-type: none">・アグリマスターの皆さんが持っている高い技術やノウハウというものを、跡継ぎとして農業に入ってくる若い人たちにしっかりお教えいただくことは大事だと思っている。・有機農業は非常に大事な分野になりつつあり、県としても一段と力を入れて取り組んでいく。・TPPに参加することとなると、できるだけ質の高いものを安い値段で提供していく必要があり、そのためには、有能な農家に農地を集積するなど、規模を拡大していくしかない。・アグリマスター制度が、山梨の農業を大きく花開かせていくためには、この制度を充実させていく必要があり、アグリマスターの皆さんには、引き続きご協力をお願いしたい。 